

三滝だより

NO. 281

2026年1月15日発行



見かけたらラッキー!?

ルリビタキ (オス) にインタビュー!!

「さっそくだけど、どこからやってきたの?」

「普段は、**標高1,500m以上**のところにいるけど、寒くなったから平地にやって来たんだ。春までここにいさせてもらうよ。」

「たしかにここは**標高123m**くらいだもんね。身長と体重は?」

「身長は**14cm**くらいで**体重は10~18g**くらいかな。」

「**スズメと同じ**くらいだね。ルリビタキとみたきって名前が似てるね。」

「濃いむらさきを帯びた青色(瑠璃色)をしたヒタキの仲間だからルリビタキという名前なんだよ。みたきとは関係ないんだ。」

「そうなんだね。見た目がとてもきれいな青色でおおわれているね。それに**脇のオレンジ色の体毛がアクセントカラー**でかっこいい!」

「ありがとう。青色でおおわれているのは**2~3歳以上のオス**だけで、**生後1~2年はメスと同じオリーブ色**をしているから、若いオスはメスとよく間違えられるんだ。それと、この色は**構造色**と言って、太陽から受ける光のうち、青色だけを反射させて青く見せている

だけで**羽そのものに青い色素はない**んだ。クジャク類や熱帯魚のネオンテトラも同じように構造色で青く見えるんだよ。」

「へえ~知らなかった!ここでは何を食べて生活しているの?」

「地上で**昆虫**を食べたり、**木の実**を食べたりしているよ。」

「また探して会いたいけど、どんな声で鳴いているの?」

「いまは地鳴きといって小さな声で「**ヒッ、ヒッ、ヒッ、ググッ**」と鳴いているよ。ぼくのさえずりが聴き取れば、初夏にもっと標高が高いところにおいで~。」

「ありがとう!また来年の冬も遊びに来てね~」



みたきにはルリビタキ以外にも野鳥がいっぱい!
枝に葉が付いていない冬が観察のチャンス!
ポケット図鑑も貸し出しますので遊びにきてね!

寒い冬のなかで 木々も春を待っています

ミタッキーだよ



寒い日が続きますが皆さんはどうお過ごしですか。こちらでは、サザンカ（ツバキ科の仲間）の赤い花がたくさん咲いていて、メジロなどの鳥が花の蜜を吸いに来てくれます。

寒さのきびしい冬に葉っぱを落とす木もたくさんあります。その枝の先を見てみると、小さな芽が冬の寒さと乾燥から身を守りながら、春の準備をしています。

施設にある双眼顕微鏡で、いろいろな木の枝の先の冬芽を見てみると、毛がびっしり生えたものや、うろこのようになったものなどがありました。芽のなかには成長点という部分があって、さかんに細胞分裂をして植物の体を先へと成長させています。



サザンカの花



冬芽

小さな毛が生えています

ふさふさの毛が生えています

冬芽



成長点があります

モクレンの枝先

モクレンの冬芽を半分にしたもの

うろこ状になっています

ヤマボウシの枝先



ヤマザクラの冬芽

植物の成長点は、茎の先端や根の先端にあり、芽には花になるもの（花芽）と葉になるもの（葉芽）、ひとつの芽に花と葉の両方が入っているもの（混芽）があります。

ヤシャブシの芽は、春一番早く芽を開きます。たわらのような形の花芽はやがて雄花に、小さなとがった芽は雌花になります。

春先に「虫みたいなものが道にたくさんある」と怖がっている子どもさんがいましたが、このヤシャブシの雄花が咲いた後に道に落ちたものだったんですね 😊

また、葉を落とした後にはくぼみ（葉痕）が残っていて、いろいろな形に見えて面白いですよ。



ヌルデの枝



ネジキの枝

春にヤシャブシの雄花が咲いている様子（小さな花がたくさんついています）

皆さんもルーペ（虫めがね）で身近なものを見てみれば、いつもと違ったいろいろな発見があるかもしれません 😊

公益財団法人広島市文化財団

広島市三滝少年自然の家・広島市グリーンスポーツセンター

〒733-0802 広島市西区三滝本町一丁目7番地の20

TEL082-238-6301 FAX082-238-6302

<http://www.cf.city.hiroshima.jp/mitaki-c/>

三滝

